



2021年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年12月24日

上場会社名 株式会社出前館 上場取引所 東
 コード番号 2484 URL <https://corporate.demaecan.com/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 藤井 英雄
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 ビジネスサポート本部長 (氏名) 宮下 淳 (TEL) 03-4500-9380
 四半期報告書提出予定日 2021年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第1四半期の連結業績(2020年9月1日~2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第1四半期	4,228	132.7	△3,194	—	△3,195	—	△3,543	—
2020年8月期第1四半期	1,817	26.8	△210	—	△202	—	△220	—

(注) 包括利益 2021年8月期第1四半期 △3,542百万円(—%) 2020年8月期第1四半期 △238百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第1四半期	△43.10	—
2020年8月期第1四半期	△5.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第1四半期	33,673	24,937	74.0
2020年8月期	35,985	28,479	79.1

(参考) 自己資本 2021年8月期第1四半期 24,934百万円 2020年8月期 28,477百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年8月期	—	—	—	—	—
2021年8月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年8月期(予想)配当金につきましては、現時点において未定です。具体的な配当金額につきましては、決定後速やかに公表いたします。

3. 2021年8月期の連結業績予想(2020年9月1日~2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,000	171.7	△13,000	—	△13,000	—	△13,000	—	△158.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有
- (注) 詳細は、四半期決算短信（添付資料）8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年8月期1Q	85,486,500株	2020年8月期	85,486,500株
2021年8月期1Q	3,270,274株	2020年8月期	3,271,074株
2021年8月期1Q	82,215,804株	2020年8月期1Q	40,989,074株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、経済情勢等様々な不確定要素によりこれらの予測数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2020年9月1日から2020年11月30日)につきまして、当社グループは「デリバリーの日常化」を実現すべく、LINE株式会社との連携強化を通じて、出前館の拡大に向けた取り組みを加速させてまいりました。

加盟店の拡大については、飲食店のデリバリーへの参入が一時的なものではなく、飲食店経営における意識の変化であると捉え、積極的に加盟店の拡大に努め、マクドナルドなどの大規模出店の有名チェーン店から地元密着のお店まで多くの飲食店の加盟が進みました。

シェアリングデリバリー®の拡大につきましては、新たに大分県、山梨県、三重県、石川県でのサービス開始などにより29都道府県に広がったほか、配達員の拡充や飲食店の増加に努めた結果、シェアリングデリバリー®による配達件数は前年同期の約5倍に増加しました。

ユーザー利用の拡大については、テレビCMをはじめとしたブランドの訴求や様々なキャンペーンを実施したことに加え、2020年11月10日よりLINEアカウントとの連携及びLINEアプリ内での『出前館』アイコンの掲出を開始し、LINEユーザーへの『出前館』の訴求を強化したことで、ユーザー数及び利用の促進につながりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は4,228,055千円(前年同期比132.7%増)と引き続き事業の拡大が続いているものの、積極的な事業展開と投資実行により、利益については、営業損失は3,194,131千円(前年同期は210,162千円の営業損失)、経常損失は3,195,340千円(前年同期は202,059千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は3,543,866千円(前年同期は220,604千円の親会社株主に帰属する四半期純損失)となりました。

区分	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)		増減	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	増減率(%)
出前館事業						
出前館サービス利用料	957,647	52.7	2,007,791	47.5	1,050,143	109.7
配達代行手数料	217,241	12.0	1,670,084	39.5	1,452,843	668.8
その他	335,021	18.4	358,662	8.5	23,640	7.1
小計	1,509,910	83.1	4,036,538	95.5	2,526,628	167.3
通信販売事業	307,210	16.9	191,516	4.5	△115,693	△37.7
合計	1,817,120	100.0	4,228,055	100.0	2,410,934	132.7

(注) 出前館事業における料金体系の変更を踏まえ、前第3四半期連結会計期間より記載を変更しております。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①出前館事業

出前館事業セグメントにおきましては、当第1四半期連結会計期間末におけるGMVは307億円（前年同期比58%増）となりました。あわせて、アクティブユーザー数は471万人（前年同期比52%増）、加盟店舗数は4.5万店（前年同期比116%増）、シェアリングデリバリー®の人口カバー率に関しましては34%（前期末比+4%）となり、中期経営計画に沿った拡大が順調に進みました。

その結果、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高の内訳は、出前館サービス利用料2,007,791千円、配達代行手数料1,670,084千円、その他358,662千円となり、セグメント売上高は4,036,538千円（前年同期比167.3%増）となりました。

②通信販売事業

通信販売事業セグメントにおきましては、飲食店向けに焼酎などの通信販売を行っておりますが、新型コロナウイルス拡大に伴う飲食店の営業縮小の影響を受け、当第1四半期連結累計期間のセグメント売上高は191,516千円（前年同期比37.7%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末における流動資産残高は、前連結会計年度末比で2,273,446千円減少し、33,306,805千円となりました。主な要因は、その他が69,122千円増加した一方、現金及び預金が2,283,611千円、未収入金が55,996千円減少したことによるものです。

固定資産残高は、前連結会計年度末比で38,800千円減少し、366,740千円となりました。主な要因は、投資有価証券が1,903千円増加した一方、投資その他の資産のその他が36,881千円、有形固定資産が2,904千円減少したことによるものです。

この結果、総資産残高は、前連結会計年度末比で2,312,246千円減少し、33,673,545千円となりました。

流動負債残高は、前連結会計年度末比で1,230,508千円増加し、8,692,200千円となりました。主な要因は、未払金が1,383,257千円増加した一方、未払法人税等が147,499千円、賞与引当金が15,281千円減少したことによるものです。

固定負債残高は、前連結会計年度末比で242千円減少し、44,137千円となりました。主な要因は、その他が242千円減少したことによるものです。

この結果、負債残高は、前連結会計年度末比で1,230,265千円増加し、8,736,337千円となりました。

純資産残高は、前連結会計年度末比で3,542,512千円減少し、24,937,208千円となりました。主な要因は、欠損填補により資本剰余金が2,664,275千円減少、利益剰余金は欠損填補により増加し、当四半期純損失3,543,866千円を計上した結果、879,548千円減少したほか、その他有価証券評価差額金が1,219千円の増加、自己株式の処分155千円を計上したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の連結業績予想につきましては、2020年10月15日公表の「2020年8月期 決算短信」に記載した連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	28,966,185	26,682,573
受取手形及び売掛金	134,904	133,550
商品及び製品	47,175	47,313
未収入金	6,375,530	6,319,533
その他	128,830	197,953
貸倒引当金	△72,374	△74,119
流動資産合計	35,580,251	33,306,805
固定資産		
有形固定資産	51,460	48,555
無形固定資産		
ソフトウェア	9,441	8,692
その他	138	138
無形固定資産合計	9,580	8,830
投資その他の資産		
投資有価証券	182,722	184,626
差入保証金	111,275	111,067
繰延税金資産	13,277	13,277
その他	38,790	1,909
貸倒引当金	△1,567	△1,527
投資その他の資産合計	344,499	309,353
固定資産合計	405,540	366,740
資産合計	35,985,792	33,673,545

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	54,026	53,650
未払金	6,867,242	8,250,500
未払法人税等	201,259	53,760
賞与引当金	82,184	66,902
その他	256,978	267,386
流動負債合計	7,461,691	8,692,200
固定負債		
その他	44,380	44,137
固定負債合計	44,380	44,137
負債合計	7,506,071	8,736,337
純資産の部		
株主資本		
資本金	16,113,422	16,113,422
資本剰余金	15,645,037	12,980,762
利益剰余金	△2,697,306	△3,576,855
自己株式	△634,095	△633,940
株主資本合計	28,427,058	24,883,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	50,197	51,416
その他の包括利益累計額合計	50,197	51,416
新株予約権	2,464	2,401
純資産合計	28,479,720	24,937,208
負債純資産合計	35,985,792	33,673,545

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2020年11月30日)
売上高	1,817,120	4,228,055
売上原価	689,034	1,702,818
売上総利益	1,128,086	2,525,237
販売費及び一般管理費	1,338,248	5,719,368
営業損失(△)	△210,162	△3,194,131
営業外収益		
持分法による投資利益	9,589	3,833
助成金収入	—	6,929
その他	557	1,608
営業外収益合計	10,146	12,370
営業外費用		
支払利息	461	41
租税公課	1,326	—
保険解約損	—	11,048
その他	255	2,489
営業外費用合計	2,043	13,579
経常損失(△)	△202,059	△3,195,340
特別損失		
減損損失	—	232,223
役員退職慰労金	—	100,000
特別損失合計	—	332,223
税金等調整前四半期純損失(△)	△202,059	△3,527,564
法人税等	18,545	16,302
四半期純損失(△)	△220,604	△3,543,866
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△220,604	△3,543,866

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年9月1日 至2019年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年9月1日 至2020年11月30日)
四半期純損失(△)	△220,604	△3,543,866
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,799	1,219
その他の包括利益合計	△17,799	1,219
四半期包括利益	△238,404	△3,542,647
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△238,404	△3,542,647
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年11月26日開催の第21期定時株主総会の決議に基づき、2020年11月26日付で繰越利益剰余金の欠損填補を行ったことにより、資本剰余金が2,664,317千円減少し、利益剰余金が2,664,317千円増加しております。この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本剰余金が12,980,762千円、利益剰余金が△3,576,855千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に法定実効税率を乗じた金額に、繰延税金資産の回収可能性を考慮しております。

(追加情報)

前連結会計年度の有価証券報告書の「(追加情報) (新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)」に記載した仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I. 前第1四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2019年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,509,910	307,210	1,817,120	—	1,817,120
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5	64,373	64,378	△64,378	—
計	1,509,915	371,583	1,881,499	△64,378	1,817,120
セグメント利益又は損失(△)	△182,722	45,377	△137,344	△72,817	△210,162
その他の項目					
減価償却費	68,865	3,951	72,817	—	72,817

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△72,817千円は、報告セグメントの減価償却費であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

II. 当第1四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	出前館事業	通信販売事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,036,538	191,516	4,228,055	—	4,228,055
セグメント間の内部 売上高又は振替高	7	142,555	142,562	△142,562	—
計	4,036,545	334,072	4,370,618	△142,562	4,228,055
セグメント利益又は損失(△)	△3,205,060	17,743	△3,187,316	△6,814	△3,194,131
その他の項目					
減価償却費	3,160	3,654	6,814	—	6,814

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△6,814千円は、報告セグメントの減価償却費であります。

2. 各報告セグメントのセグメント利益又は損失の合計と調整額の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「出前館事業」において、当第1四半期連結累計期間に取得した固定資産について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間において232,223千円であります。